

## 生成 AI の本格導入によって目指している姿と導入予定システム

総務部 業務改革推進課

## 1 目指す姿

現在は生成 AI 利用ガイドラインに基づき、インターネット環境において無料で使える生成 AI ツールを利用しており、非公開情報の入力には禁止されています。令和 8 年度に、行政機関専用ネットワークである LGWAN 環境下で安全かつスムーズに利用できる生成 AI ツールを導入し、個人情報を除く非公開情報の利用も可能とします。会議録の要約や資料作成、アイデア出しや文章の校正など事務の効率化を中心に活用し、生み出された時間をより付加価値の高い市民サービスや政策立案に充てることで、市民サービスの向上と持続可能な行財政経営の実現を目指します。

## 2 導入予定システム

導入するシステムについては仕様検討を進めている段階であり、調達方法を含めて決まっていますが、LGWAN 環境下で利用できるシステムを調達する予定です。LGWAN 環境で利用できる生成 AI システムは複数社が提供しており、OpenAI 社製の chatGPT や Google 社製の Gemini など、複数の生成 AI を管理者または利用者が選択して利用できるものとなる想定です。